



岐阜北週報

6月 ロータリー親睦活動月間

□ 題 字	川崎 賢二	□ 会 長	川崎 賢二	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	近藤 祐司	2022-2023
□ 会 場	都ホテル岐阜長良川	□ 幹 事	波多野光裕	No.1886
		会報委員長	湖山 浩行	23.6.14

前回の記録

第 1885 回 例会 6月7日 (水)
慶祝行事
卓話 (10)

担当：谷藤会員 島戸会員

本日の予定

第 1886 回 例会 6月14日 (水)
卓話 (11)

担当：西垣会員 永井会員

次回の予定

第 1887 回 例会 6月21日 (水)
定時総会 (次年度予算承認)

担当：会長・次期会計

会長挨拶 【川崎 賢二 会長】



皆様、こんにちは。今月は、ロータリー親睦活動月間であります。また、本日は、会員による卓話でございます。担当する島戸龍史会員、よろしくをお願いします。

前回の岐阜県庁新庁舎での職場例会ですが、出席した会員から大変好評でした。職業奉仕委員会の松野秀計委員長らしい企画で、お徳感満載の例会となりました。改めて、感謝申し上げます。ありがとうございました。

6月に入り、1週間が経ちました。月日の流れは本当に早く、私の任期も1ヶ月足らずとなりました。今月最後のフィナーレ例会まで、会長挨拶にてこの1年間の活動を振り返ってまいります。

長かったコロナ禍の3年間でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのプログラム

会長挨拶 続き

が中止、もしくは縮小を余儀なくされました。今期は、我がクラブの会務運営をコロナ禍以前と同様に戻すべく、アフターコロナ禍での運営をどのように行っていくのかという課題がございました。幸いにも皆様のおかげをもちまして、我がクラブは計画していただきましたプログラムのほとんどを実施することができましたことが、何よりも嬉しかったです。次期は、今期できなかった若松学園との交流事業等も含めて、年間プログラムを全て実施できますことを願っております。

それでは、本日の座右の銘のご披露をします。本日は、『波乱万丈 女の人生』の第2弾でございます。今回は大島愛子会員の座右の銘です。大島会員は、職業分類はフードコンサルタントであり、現在は一般社団法人キャラクター・フード協会の代表理事を務めております。我がクラブには令和3年7月に入会され、ロータリークラブ歴は浅いのですが、大島会員の存在感はそれを感じさせないものがあります。大島会員の人となりのご活躍ぶりにつきましては、私が語るまでもありません。岐阜北ロータリークラブ週報第1882号及び卓話にてご確認ください。

大島会員の座右の銘は、『真理似寒梅・耐風雪 開花』(真理は寒梅に似て、風雪に耐えて花開く)

会長挨拶 続き

であります。以下、大島会員からの説明です。

庭先にある一本の早咲きの梅が厳しい風や雪の寒さにもめげず、笑うがごとくに開いている。一番咲きを争うこともなく、また、特に努力するまでもないが、それでいてあらゆる花のさきがけとなって咲いている、まことに謙虚な姿である、という意味です。

私が19歳の時、衆議院議長を務められた土井たか子さんから頂いた色紙に書かれた言葉です。本当は、同志社大学の創始者、新島襄の言葉で『真理似寒梅 敢侵風雪開』(真理は寒梅に似たり、敢えて風雪を侵して開く)。

土井さんは、『侵す』という字がしっくりこないの、と笑いながらアレンジしていました。この色紙をくださるとき、土井さんは「あなたは、いつか女性初の総理大臣になる」と言って渡してくださいました。たぶん、ご自分に向かって言われたのでしょう。私はこの色紙を持ってお嫁に行きました。今は数秒に1組の夫婦が別れる時代ですが、大家族に嫁いだあの頃、どれだけ励まされたかしれません。今でも梅の花が咲くころになると謙虚に咲いている姿に感動を覚えます。

私からも付け加えます。この新島襄の言葉は、明治21年(1888年)新島が45歳であったときに、愛弟子で後に日本銀行総裁となった深井英五に与えたものとのことです。新島は、悪い条件を克服して咲く梅の姿に大変共感し、自分の生き方のお手本のように捉えていました。

この漢詩が有名となったのは、昭和17年(1942年)に同志社 校友会が刊行した「新島先生書簡集」の口絵頁に写真版で紹介されたことが契機となり、現在も同志社大学今出川キャンパスの礼拝堂近くに寒梅碑という石碑に刻まれています。新島襄ですが、この漢詩を贈った2年足らずの1890年1月に47歳にて逝去しました。因みに、京都で新島の葬儀が行われた日は、東京三田で慶應義塾に大学部が発足した日でもありました。私立大学の創立を夢み、設立に向けて奔走していた新島の姿に、福沢諭吉は大変刺激を受け、先に夢を実現した日でありました。キリスト教への風当たりが、まだ非常に強く、厳しい社会情勢の中、キリスト教を信じ、志を貫いた新島の精神を示した漢詩であると言えます。新島の人生においても、生きていく中

会長挨拶 続き

で、自分が逆風に感じることは多く、信念を貫くことは本当に難しいことだったでしょう。しかし、周りに流されることなく信念に基づき行動をすることを、この新島の漢詩から学ぶことができます。

大島会員に当てはめると、誰も踏み入れることのなかったキャラクター・フードという分野の普及のために全国を奔走する姿勢が、この座右の銘にある新島襄と重なる点があり、現在の大島会員にとって相応しい言葉であります。

大島会員、素敵な座右の銘をご紹介くださり、ありがとうございました。

暑い日が続いたかと思えば、早速台風が通過する等、季節の変わり目とはいえ体調管理が難しい時期でございます。会員の皆様がお元気で過ごしていただけますよう祈念申し上げまして、私の会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうかよろしくお祈りいたします。ご清聴ありがとうございました。



大島会員の座右の銘



島戸会員 川崎会長 大島会員

出席報告

会員数：39名
 出席数：26名／39名
 出席率：66.67%
 欠席者：13名（出席免除 5名）

慶祝行事

- 1 会員誕生日のお祝い
 - 6月17日 西垣 康紀 会員
 - 6月23日 大島 愛子 会員
 - 6月26日 原尾 勝 会員
 - 6月28日 林 隆行 会員
- 2 ご夫人誕生日のお祝い
 - 6月 5日 河村 都以 様
 - 6月14日 天川 香里 様
- 3 結婚記念日のお祝い
 - 6月 9日 榊原 典夫 会員

ニコニコBOX（敬称略）

永瀬 章：北海道旅行、皆さんに大変お世話になりました。

岡田 忍：ゴルフ同好会、お世話になりました。

原尾 勝：誕生日お祝いを頂きまして、ありがとうございます。

辻 博：北海道、おつかれ様。

島戸 龍史：北海道、お疲れ様でした。

鈴木 隆行：ゴルフ同好会、ありがとうございました。

岡田一二三：ゴルフ同好会の皆様、ありがとうございました。湖山さん、ありがとうございました。

委員会・同好会報告事項（敬称略）

- ・親睦交流委員会 前田 吉彦 委員長
フィナーレ例会のご案内。
- ・I GM報告 波多野 光裕 会員

委員会・同好会報告事項 続き（敬称略）



親睦交流委員会 前田吉彦委員長



I GM報告 波多野会員

- ・第12回例会ゴルフ同好会 北海道
- 日程：2023年6月4日～6日
- 場所：北海道
 - 1日目 小樽 小樽貴賓館
 - 2日目 御前水ゴルフ倶楽部
 - 3日目 ニドム クラシックコース

<6月5日>

- 優勝 島戸 龍史
- 準優勝 波多野光裕
- 第3位 林 隆行

	競技者名	GROSS	H.D	NET
1	島戸 龍史	92	22.0	70.0
2	波多野光裕	107	36.0	71.0
3	林 隆行	90	18.0	72.0

- ニアピン NO. 2 辻 博
- NO. 7 ー
- NO. 12 波多野光裕
- NO. 15 林 隆行
- ドラコン NO. 3 島戸 龍史
- NO. 11 近藤 祐司

委員会・同好会報告事項 続き (敬称略)

大波小波 小泉 宣昭
 平 和 林 隆行
 ベスグロ 辻 博

<6月6日>

優勝 近藤 祐司
 準優勝 西垣 康紀
 第3位 岡田一二三

	競技者名	GROSS	H.D	NET
1	近藤 祐司	97	27.6	69.4
2	西垣 康紀	104	31.2	72.8
3	岡田一二三	97	21.6	75.4



1日目 小樽貴賓館



2日目 御前水ゴルフ倶楽部



3日目 ニドム クラシックコース

委員会・同好会報告事項 続き

・次年度インターアクト委員会 小泉宜昭委員長
 令和5年6月1日(木)、岐阜城北高校の下平義広校長、浅見小百合先生、服部佐知子先生、高橋令子先生にご来訪いただき、次年度計画の確認、打合せなどを行いました。その際に、次年度のロータリークラブ助成金の贈呈を行いました。



小泉次期委員長と下平校長

幹事報告

・定例理事会の案内

例会行事 卓話

・卓話「シマドのトリセツ」島戸 龍史 会員



※卓話内容は岐阜北ロータリークラブHPへ掲載します。

次回例会のご案内

第1887回例会 6月21日(水)
 定時総会(次年度予算承認)
 担当: 会長・次期会計

会報・広報 5月担当 岡田一二三(臨時)